

11月スタートです。

今日から11月。早いもので今年もあと2ヶ月を残すのみ。今週末は2回の延期を経ていよいよ修学旅行に出発します。また1,2年生もそれぞれ奈良公園や吉野山周辺に校外学習に出かけます。

新型コロナの感染状況が一旦落ち着きを見せ、本当に良かったね。あっそうそう、先日職員朝礼後に昇降口でみんなを迎えていた時思ったんだけど、昇降口で手指の消毒をしている人が本当に少なかったよ。これまで通り、きちんと消毒してくださいね。いつ何時第6波がやってくるかわからないから。よろしく!!では今月も頑張ってください!



時間を意識する。考えて行動する。

学校はチャイムによって動いていると言っても過言ではありません。本校はチャイムの2分前にオルゴールが鳴ります。みなさんの気づきを促すためです。

そのことがわかっていないのでは?と思う人がいます。特に1年生!!オルゴールが鳴っているにも関わらず、そのまま廊下でしゃべり続ける等、その前と全く行動を変えない人、チャイムが鳴り終わった後、移動教室に走って向かっている人。時間の意識ができていない。また、授業開始後に忘れ物を教室に取りに戻っている人。金曜日の1年生はひどかったなあ。人間ですから当然ミスはします。忘れることもあるでしょう。しかし、何回も同じことを続けてはいけません。心当たりのある人は心してください。

このこともあり、週末の29日(金)、1年生は多目的室で一斉終わりの会を行いました。生徒指導部長の居駒先生からありましたが、「きちんと整列することの意味」わかりましたね。時間のことと関わって「人の気持ちを考えて行動することの大切さ」も語られました。「自分(自分達)さえよければいい」的な考え方は絶対にやめなさい。学年主任の荒川先生から「4月にできていたことが出来なくなっている。」ことが話されました。4月に学級で確認されていた事項の一部を1つ1つ言ってもらいましたが、現状を見る限り正直厳しいですね。自分達でもそう思うでしょ。

上谷は今1年生に対してものすごく危機感を持っています。そして切り替えてしっかり行動してくれることをそれ以上に期待しています。



市内中学校の英語暗唱大会が開かれました。

10月28日(木)の午後、市役所3Fにある会議室で香芝市英語教育研究会主催の暗唱大会が行われました。今回で30回目だそうです。本校は開校22年目ですので、それ以前から続いているってことですね。そういえば香芝市は今年市政30周年でしたね。



本校からは1年生から2名、2年生から2名、3年生から1名の計5名が出場しました。

1人ずつ順番に前の演題に立ち、スピーチする、ものすごく緊張したと思います。上谷が部屋に入ったのはホント後半で、本校では3年生のスピーチしか聴けませんでした。ジェスチャーを交えながら豊かな表情で実に堂々と話していました。

審査の結果、3年生の部で第1位、2年生の部で第2位にそれぞれ

選ばれました。おめでとうございます。とにかく参加した5人にはとても良い経験になったことと思います。市役所から戻ってきた5人に会ったので感想を聞くと「緊張しました。」と。また「来年こそは!」という意気込みも感じました。次回、君も挑戦してみてください。

また3年生が奈良県スピーチ・レシテーションコンテストで4位になりました。こちらはコロナ禍ということでビデオ審査だったようです。おめでとうございます。



こんなサプライズも。



英語暗唱大会にはちょっとしたサプライズがありました。福岡憲宏香芝市長が突然コンテストの部屋に入って来られました。先生方も聞かされてなかったみたいです。ホンマ、突然って感じでした。(まあ考えてみれば会場の会議室と同じ3Fに市長室はありますからね。誰かから暗唱大会をやっていることを聞かれたんでしょうね。)

全員のスピーチが終わった後、ご挨拶されました。

自分が若い頃バックパッカーだったとか…。そして1人の方を紹介されました。スイスの方で、10月26日から約2年間香芝市の職員として勤務されるそうです。少しお話しして下さいましたが、スイスのことなど聞きたいことだらけです。要請があれば学校に来てもらえるようなので、オファーしてみますわ。

